



和光の緑と湧き水だより会報 Verda 217号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成：高橋絹世 連絡先 048—462—9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

自然に親しみ、湧き水を守るボランティアに参加しましょう 会 員 募 集 中

2022年4月～2022年6月の主な予定表 (2022年4月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
2022 4月	タケノコ掘体験と野草観察会 23日(土) 10時	16日(土) 定期保全 月末の水曜も活動予定	9日(第2土) 富澤湧水斜面手入れ 20日(第3水) 大坂ふれあいの森
5月	14日(土) 総会 白子コミセン 緑化祭り 29日(日)	21日(第3土) 竹林整備 月末の水曜も活動予定	9日(第2月) 富澤湧水 18日(第3水) 大坂ふれあいの森
6月	身近な川の一斉調査 5日(日)	18日(第3土) 定期保全 月末の水曜も活動予定	11日(第2土) 富澤湧水 15日(第3水) 大坂ふれあいの森

1. 湧き水の会に事業者・株式会社リゾン様よりのご寄付を戴きました

会の活動は、和光の身近な自然を知り、守り、伝えるをモットーに継続して行っています。この度、柳下技研社長柳下勇氏のご紹介で、新たに株式会社リゾン様より、5万円のご寄付をいただきました。会員一同大変有難く、心より感謝申し上げます。当会の活動をさらに広げて、緑と湧き水を残し、多くの方々にその大切さを伝える活動を発展させていこうと思います。当会のような小さな会に様々な事業者からの励ましと支えを戴き有難く、貴重なご寄付を有効に使わせていただきます。紙面を借りて心より御礼申し上げます。

2. 地域文化教室～越戸川から自然体験を身近に～ 主催：坂下公民館

越戸川を題材に、地域の自然に触れ、身近な自然を守ることはどういうことなのかを学ぶ講座を坂下公民館主催で、3月10日に高橋勝緒氏が講師で行われました。越戸川をはじめにとりあげて、その後和光市全体の身近な自然の紹介、その特徴を解りやすく講義が進みました。自然にふれあい、家族で自然体験ができる所はどんな場所か、また湧き水の会で行っている自然保護の活動を紹介しました。和光市に最近お引越しをされた方は、熱心に聴講されていました。特にここ2年間はコロナ対応に翻弄され、外出できるところが制限されていました。身近な和光を知り、自然を体験する活動に参加できる良い機会になったのではないのでしょうか。参加は少人数でしたが、皆さん熱心に和光の特徴に耳を傾けていました。丁度春到来の季節、紹介された貴重な春植物の見られる時期でもあり、その後の実際の活動にも参加されるきっかけとなりました。



3. 3月12日 富沢湧水の活動

講演会参加者が早速富沢の活動に参加し、樹木名板取り付け作業をしながら斜面を登り、春一番のヒロハアマナの開花状況の観察を実施、クヌギの実生の苗を選び刈り終えた笹藪に移植を行ったり、様々なフィールドワークを、子供も参加して、にぎやかな活動となりました。のぼり



手作りの樹木名板取り付け



富沢湧水での記録写真

旗を入れて記録写真を撮りました。



富沢のヒロハアマナ

3月31日にも富沢湧水の植物観察をしました。ここはヒロハアマナの生育に大変適しているようで、昨年移植した地域にも根付き、多くの葉が観察され、3か所の地域で見つかりました。南東側の斜面に移植したカタクリは開花が見られ、ここでもしっかり定着しています。

4. 新倉ふれあいの森 “クヌギの原木にシイタケのコマ打ち作業”

3月19日、新倉ふれあいの森の里山保全メンバーが集まり、白子から2名が加わり総勢9名、1月に伐採したクヌギを原木にシイタケ菌のコマ打ち体験会を実施しました。

このクヌギは2000年に樹林公園でドングリから育て、2007年公園から新倉に移植したクヌギ。2022年1月に伐採し、約1m前後に切りそろえ、2か月寝かせた元気なクヌギの原木です。新倉では毎年この時期にいろいろな木で実施しています。充電式ドリルではクヌギの硬さにならず、杉浦さん宅から電源を借りて電動のこ切りを使い作業がはかどりました。一本のクヌギから、約30本のシイタケの原木に代わりました。竹林内に打ち込んだクヌギを借り置きました。



30日にも活動が行われました。昨年「かしなが」に入られた木に「かしながホイホイシート」を6本の木に巻きつけ中に入っている虫が外に広がらないようにしました。昨年の経験があるのでスムーズに作業が捗りました。竹林内の竹の間引きも当日の作業を終了しました。

カタクリの移植地では、ここでも今年も順調に綺麗な姿を見せています。

5. 大坂ふれあいの森の様子

大坂ふれあいの森では、堀会長を中心に森の中を通過できる通路を検討しています。公園みどり課とふれあいの森の中を通り、斜面を少し上る道を点検しました。古の大阪通りから森を散策しながら通り抜けられるようにする予定です。

この森は、カタクリが自生する貴重な所です。大坂のカタクリは北向きの斜面に大きな葉をつけるのが特徴です。反対側の斜面の移植地には開花が見られました。イチリンソウも開葉した群落がみられました。4月中旬にはニリンソウより大きな白い花が見られることでしょう。

各地での春植物は大変良い状態が保たれていると思います。ふれあいの森や特別緑地保全地区の継続的維持管理が会員および地域の市民によって保たれているからだと思います。



検討中の森の通路



落ち葉がいっぱいの大坂ふれあいの森広場



移植後のカタクリの花

大坂ふれあいの森の周囲に急速に家が立ち並び、自然環境維持が問題です。しかしながら今回の観察では湧き水も湧き出ていて、植物も健在です。近い将来には公有地化がはかれると聞いています。皆さんで大切に残していきましょう。

6. 2022年度の総会に向けて

総会は、5月14日 土曜日 13時半～16時半

白子コミセン視聴覚室と富澤湧水の現地視察（水源を辿る）を行います。

過去2年間は、コロナの影響で、紙面による議決を実施し、会員一同が会することが出来ませんでした。今年は集会が可能になりました。マスク着用、換気し注意しながら実施します。

総会には、和光市の新市長柴崎光子様、県会議員の井上航氏がお出で下さる予定です。

また、昨年度、公園みどり課が進めていた「和光市 みどりの基本計画」について、関係する市民団体が委員として参加し、当会からは高橋勝緒さんが参加して基本計画が作成されました。和光の特徴である湧き水の保全計画が取り上げられたことが大きな特徴です。この取り決めの中心であった課長補佐野口氏には、総会後に「和光市 みどりの基本計画」について、概要をご講演いただけるようお願いをしているところです。担当の中沢氏もお出で下さる予定です。

和光すみどりの基本計画は、「子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える『湧き水』と『みどり』のまち」をうたっています。当会の活動と直接関係するところが多くあるのが特徴です。市内には湧き水が多くありますが、特に富澤湧水がその中心的存在で、これからも保全活動が続け、大切さを発信していこうと思います。多くの方のご出席ご協力をお願いいたします。

7. これからの活動

4月からの各地区の活動には、多くの方々の参加を期待しています。



NP0 法人 和光・緑と湧き水の会
白子大坂ふれあいの森の会 **問合せ**
お近くの所にご参加ください。 048-462-9912

みんなで楽しく自然にふれあい、湧き水を残していく**ボランティア**活動にどうぞ
ご参加ください。

市内に3か所の活動場所がありお近くの所にご参加くださいね。
また地域間交流も大切です。思い切って新しい所にも出かけてください。



富澤湧水 毎月第2土曜日です
湧き水の小川があり生き物にも出会います
4月9日
5月9日（月曜日です）
6月5日（全国一斉水調査）（日曜日）
集合は、富澤湧水前9時半
総会 5月14日 1時半から4時半
白子コミセンおよび富澤湧水

大坂ふれあいの森 毎月第3水曜日で
春には野草が咲き、緑に囲まれた癒しの空間です

4月20日
5月18日
6月15日

集合は 大坂ふれあいの森9時半



新倉ふれあいの森 毎月第3土曜日です
美しい竹林があり、散策やタケノコ掘りが出来ます

4月16日
5月21日
6月18日

集合は 新倉ふれあいの森9時半

タケノコ掘り体験と植物観察会 下新倉児童館共催 4月23日

